

## 2024年7月 ポートフォリオ組入状況

ファンドは特化型運用を行います。

SBI岡三 NASDAQ AIアクティブファンド 追加型投信/海外/株式

- ▶ 平素は「SBI岡三 NASDAQ AIアクティブファンド」(以下当ファンド)に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当ファンドは、マザーファンドの運用にあたり、株式会社FOLIO(以下FOLIO)から投資候補銘柄のリターンのランキング予測や投資配分等に関する助言を受けます。
- ▶ 本レポートでは、2024年6月28日に設定しました当ファンドのパフォーマンスとポートフォリオの状況をご報告致します。

## 情報技術セクターを高位に組み入れ(2024年7月8日時点)

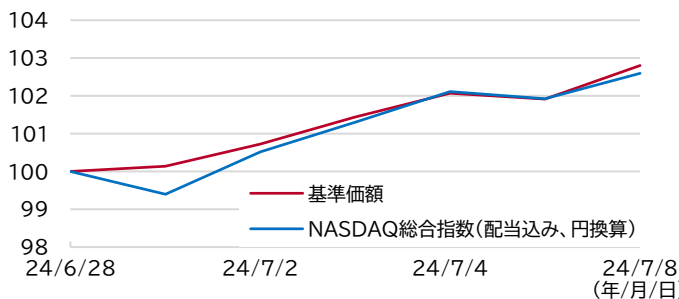
## 設定日以降のパフォーマンス

当ファンドの運用は、SBI岡三 NASDAQ AIアクティブマザーファンドを通じて行っており、銘柄の選定にあたっては、AIによる投資候補銘柄のリターン順位予測を基に、定量アプローチによるリスクコントロールを行い、ポートフォリオを構築しています。

6月28日に運用を開始した当ファンドの基準価額は、7月8日時点で10,280円となりました。設定日以降でNASDAQ総合指数(配当込み、円換算後)の騰落率を0.21%上回り、順調なスタートとなっています(図表1)。

図表1 当ファンドの基準価額とNASDAQ総合指数の推移

(期間 2024年6月28日~2024年7月8日、日次)



※設定日(2024年6月28日)を100として指数化  
※基準価額は1万円当たり、信託報酬控除後です。指数は現地基準(1営業日前)です。  
※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

(出所)Bloombergデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

## ポートフォリオの状況

## 業種別組入比率

NASDAQ市場上場銘柄からAIを活用したリターン順位予測に基づき、定量アプローチによりリスクを勘案した上で、31銘柄を選定してポートフォリオを構築しました。7月8日時点の業種別組入比率は、情報技術が最も高く(約61%)、次いでコミュニケーション・サービス(約13%)、一般消費財・サービス(約9%)などが組み入れ上位となりました(図表2)。

## 組入上位10銘柄

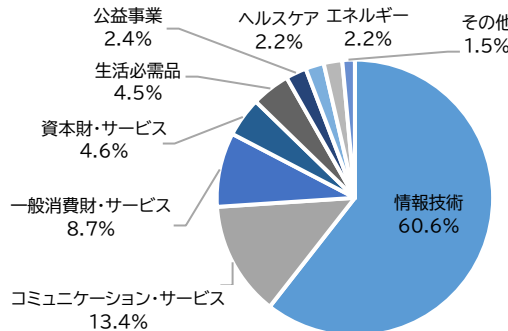
ポートフォリオでは、AIによるリターン順位予測において、短期予想および長期予想の両方で高い評価を得られたエヌビディア、アプライド マテリアルズ、クアルコム、メタ・プラットフォームズなどが組入上位となりました。一方、リスクコントロールのため、マイクロソフト、アップル、アマゾンも高位に組み入れました。

今回、組入上位10銘柄中、情報技術セクターが6銘柄となりました。生成AI関連向け需要の強さから、半導体関連銘柄への成長期待の高さが背景にあると考えられます。

今後につきましては、組入銘柄の見直しと各銘柄の組入比率の調整を原則として毎月実施する予定です。

図表2 業種別組入比率

(2024年7月8日時点)



※マザーファンドの純資産総額に対する比率です。  
※小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100にならない場合があります。

図表3 組入上位10銘柄

(2024年7月8日時点)

順位	銘柄名	セクター	組入比率 (%)
1	エヌビディア	情報技術	9.6
2	メタプラットフォームズ	コミュニケーション・サービス	6.7
3	マイクロソフト	情報技術	6.6
4	アップル	情報技術	6.5
5	コストコ・ホールセール	生活必需品	4.5
6	ネットフリックス	コミュニケーション・サービス	3.9
7	クアルコム	情報技術	3.4
8	アプライド・マテリアルズ	情報技術	3.2
9	アマゾン	コミュニケーション・サービス	3.2
10	インテュイット	情報技術	3.1

※マザーファンドの純資産総額に対する比率です。  
※セクターはGICS(世界産業分類基準)分類です。

## 販売会社一覧 (2024年7月16日)

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次販売会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
<b>(金融商品取引業者)</b>					
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○

ファンドは特化型運用を行います。

特化型運用ファンドとは、投資対象に一般社団法人投資信託協会規則に定める寄与度\*が10%を超える支配的な銘柄が存在し、または存在することとなる可能性が高いファンドをいいます。

\*寄与度とは、投資対象候補銘柄の時価総額の合計額における一発行体当たりの時価総額が占める割合または運用管理等に用いる指数における一発行体当たりの構成割合をいいます。ファンドの実質的な主要投資対象には、支配的な銘柄が存在し、または存在することとなる可能性が高いため、特定の銘柄への投資が集中することがあり、当該支配的な銘柄に経営破綻や経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

Nasdaq®は、Nasdaq, Inc. またはその関連会社(以下、Nasdaq, Inc.およびその関連会社を「Nasdaq社」と総称します)の登録商標であり、SBI岡三アセットマネジメント株式会社が使用許諾を受けています。Nasdaq社は、SBI岡三アセットマネジメント株式会社が設定するアクティブ・ファンドの運用プロセス、または当該ファンドのマーケティングまたは取引に関連して、いかなる関係も責任も負いません。当該アクティブ・ファンドとその運用プロセスの合法性または適格性はNasdaq社によって保証されたものではありません。当該ファンドは、Nasdaq社によって発行、承認、販売、または販促されるものではありません。また、Nasdaq社は、当該ファンドに関していかなる保証も行わず、責任を負いません。

## &lt;本資料に関するお問い合わせ先&gt;

フリーダイヤル 0120-048-214 (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)

## 留意事項

## SBI岡三アセットマネジメントについて

商号：SBI岡三アセットマネジメント株式会社

SBI岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長(金商)第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

## 投資リスク

■投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益及び損失は、すべて投資者の皆さまに帰属します。ファンドは、米国の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。

■ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」があります。その他の変動要因としては、「カントリーリスク」があります。

※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

## その他の留意点

■ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

■投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。

■ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込の受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。

■分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがかさかった場合も同様です。

■ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額が影響を受けることがあります。

■取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込の受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込の受付を取消すことがあります。

●詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご参照ください。

## お客様にご負担いただく費用

<お客様が直接的に負担する費用>

## ■購入時

購入時手数料：購入金額(購入価額×購入口数)×上限3.3%(税抜3.0%)  
詳しくは販売会社にご確認ください。

## ■換金時

換金手数料：ありません。  
信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

## ■保有期間中

運用管理費用(信託報酬)：純資産総額×年率0.9966%(税抜0.906%)

## ■その他費用・手数料

監査費用：純資産総額×年率0.0132%(税抜0.012%)

■有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を投資信託財産でご負担いただきます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただきます。(監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。)

●お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。

●詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご参照ください。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。